

自転車マナー向上を

玉野署 中高生に呼び掛け

自転車通学の中学・高校生のマナー向上、交通事故防止を目指し、玉野署は21日、サイクルマナーアップ運動を、宇野の検察庁北交差点付近にある自転車歩行者専用道で行った。

動(21〜30日)に合わせ実施。署員、市職員、玉野交通警察協助力員、玉野交通安全協会、県自転車軽自動車商協同組合玉野支部のメンバーら22人が参加した。

自転車で下校する生徒に「気を付けて乗って」と声をかけてもらい、「夜光たすきなどの啓発グッズを手渡した。ちらしは「必ずライトを点灯して」「左側に寄って通行!」などと促す内容。協同組合メンバーは生徒らの自転車を点検した。ベル、ライト、ブレーキ、

らし、夜光たすきなどの啓発グッズを手渡した。ちらしは「必ずライトを点灯して」「左側に寄って通行！」などと促す内容。協同組合メンバーは生徒らの自転車を点検した。ベル、ライト、ブレーキ、タイヤなどの状態を調べ、「タイヤに空気を充て」「チェーンが緩くなっている」などと助言した。

（岡本遙加）

(岡本遙加)



下校する生徒の自転車の点検などを行ったサイクルマナーアップ運動

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。